

資質向上のためのセルフチェックシート 【校長】

所属	
氏名	

記入年月日	令和	年	月	日
記入年月日	令和	年	月	日

キャリア・ライフステージ	総合力の発揮期（校長）
年齢・教職経験年数(目安)	校長
目指す教員像	教職員の能力を把握して必要な支援を行い、関係者との連携・協働を図りながら、学校を組織体として機能させ、学校教育目標を達成している。
岩手の基本研修	新任校長研修

資質向上に関する指標		自己評価 ※							
		(①基本研修時)				(②年度末)			
		4	3	2	1	4	3	2	1
1 校長としての素養									
教諭として高めてきた素養・資質						/	/	/	/
教育者としての高い見識	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員をはじめ、児童生徒・保護者・関係者に説明できる教育哲学・理念がある。 ・豊かな経験に基づく確かな判断力、決断力、リーダーシップを有している。 ・地域住民や関係機関の期待を受け止め、職務の重要性を自覚している。 ・国・県・市町村の教育施策等について情報収集し、教職員に周知している。 								
2 マネジメント力									
学校経営計画の達成	<ul style="list-style-type: none"> ・自校の現状や児童生徒・保護者・地域・関係者のニーズを把握し、経営計画を策定している。 ・学校の経営資源を最適化し、進行管理することで、目指す学校像や育てたい児童生徒像の実現に努めている。 ・教育課程に関するPDCAを実践し、課題解決を図りながら学校教育目標の具現化に努めている。 ・学校経営計画等に、特別支援教育に関する目標を適切に設定し、児童生徒の多様性を踏まえた学びの機会を提供している。 								
教職員の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が、各自の強みを発揮しながら組織的に活躍できる適切な校務分掌を編成している。 ・教職員の日常のサービスを管理し、不祥事の未然防止に努めている。 ・教職員のメンタルヘルスを含めた健康・安全・働き方に配慮し、業務改善を図りながら、ハラスメントのない風通しのよい職場風土を醸成している。 ・ICTの効果的な活用などを通じて、働き方改革を実現し、教職員の長時間労働の解消に努めている。 								
教職員の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の特性を見出し、日常的に資質向上やライフプランに関する指導・助言を行っている。 ・教員等育成指標や個々の教職員の研修履歴等を踏まえ、対話に基づく受講奨励等を行うとともに、OJTや校内研修等を活用し、教職員個々の資質や組織としての対応力を向上させている。 								
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等を含めた危機発生時の適切な初動対応を図るとともに、学校事故・いじめ・不登校等の未然防止に努め、当事者・保護者に対し組織的かつ迅速・的確に対応している。 ・学校安全・学校保健・食育等に関する計画を策定し、周知・理解を徹底している。 								
事務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学籍・文書・財務・施設の管理について、法令等に基づき適切に行っている。 								
関係者等との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域・関係機関と適切に連携・協働し、より良い学校運営に努めている。 ・学校教育目標・経営計画等について、学校運営協議会委員等の理解を得るとともに、保護者や地域に対して積極的に発信している。 ・自ら、学校内外の関係者に働きかけ、その相互作用により、学校としての教育力の最大化を図っている。 								
学校をとりまく情報の収集・分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なデータや、学校が置かれている内外の環境に関する情報について、自ら収集・整理・分析するとともに、必要に応じて教職員や関係者との間で共有している。 								

※「自己評価」 4:よく当てはまる 3:どちらかというと当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない

自己の資質向上のために今後取り組みたい事項、伸ばしたい力等	※ 備考欄
-------------------------------	-------